※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　地歴科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	高校世界史　（山川出版）						
副教材等	ニューステージ　世界史詳覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人類が生み出した文明の経験に学び、「なぜ」という視点で自分の意見を考え、歴史的思考力を養い、２１世紀の世界の担い手としての自覚と資質を養う。
・中学校社会科や地理的条件や日本の歴史との関連付けに配慮し、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にかかわる主題を設定し、考察する活動を取り入れ、歴史に対する関心を高める。
・多くの資料や映像、人物のコラムなどを通して、興味関心をもって世界史を学習する。
・ワークシート、ノート、課題等の提出物の期限は必ず守る。

２　学習の到達目標

a：知識・技能
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解できている。
・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けている。
b：思考・判断・表現
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、現代世界とのつながりに着目して、多面的・多角的に考察することができている。
・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に着けている。
c：主体的に学習に取り組む態度
・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が身についている。
・多面的・多角的な考察や深い理解を通して我が国の歴史に興味関心をもつとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚が深まっている。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を 視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察 や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，　他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	文明の成立と古代文明の特質	1.文明の誕生 2.古代オリエント文明とその周辺 3.南アジアの古代文明 4.中国の古代文明 5.南北アメリカ文明	a: オリエント文明，インダス文明，中華文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。 b: 古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自然環境と生活や文化との関連性，農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し，表現している。 C:古代文明に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査　確認テスト	定期考査　ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	中央ユーラシアと東アジア世界	1.中央ユーラシア 2.秦･漢帝国 3.北方民族の活動と中国の分裂 4.東アジア文化圏の形成	a:秦・漢と遊牧国家の動向などを基に，東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b: 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	南アジア世界と東南アジア世界の展開	1.仏教の成立と南アジアの統一国家 2.インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3.東南アジア世界の形成と展開	a:仏教の成立とヒンドゥー教，南アジアと東南アジアの諸国家などを基に，南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 b: 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色，東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	西アジアと地中海周辺の国家形成	1.イラン諸国家の興亡とイラン文明 2.ギリシア世界 3.ローマと地中海支配 4.キリスト教の成立と発展	a:西アジアと地中海周辺の諸国家，キリスト教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に，西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 b:西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり 関連付けたりして読み解き，西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色，キリスト教などを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	1.アラブの大征服とカリフ政権の成立 2.ヨーロッパ世界の形成	a:イスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成に関連する歴史的特質を理解している。またキリスト教を基盤とした国家・社会に関する歴史的特質を理解している。 b:イスラーム教とキリスト教にもとづいて形成された国家や社会に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互の関わりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり 関連付けたりして読み解き，キリスト教とイスラーム教の諸国家の社会や文化の特色，キリスト教やイスラーム教などを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: イスラーム教とキリスト教にもとづいて形成された国家や社会に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	イスラーム教の伝播と西アジアの動向	1.イスラーム教の諸地域への伝播 2.西アジアの動向	a: 西アジア社会の動向とアフリカ･アジアへのイスラームの伝播などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b:諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面 的・多角的に考察し，表現している。 c: 諸地域に拡大したイスラームに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	ヨーロパ世界の変容と展開	1.西ヨーロッパの封建社会 2.東ヨーロッパ世界 3.西ヨーロッパ世界の変容 4.中世文化	a:ヨーロッパ封建社会とその展開などに関連する歴史的特質を理解している b: ヨーロッパ封建社会とその展開などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:ヨーロッパ封建社会とその展開などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	1.宋とアジア諸地域の自立化 2.モンゴルの大帝国	a:宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b: 宋の社会とモンゴル帝国の拡大に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の 関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面 的・多角的に考察し，表現している。 c:宋の社会とモンゴル帝国の拡大に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
2学期	大交易・大交流の時代	1.アジア交易世界の興隆 2.ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容	a:アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 b:諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を 比較したり関連付けたりして読み解き，アジア海域での交易の特徴，ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: アジア海域での交易の興隆，明と日本・朝鮮の動向，スペインとポルトガルの活動などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	アジアの諸帝国の繁栄	1.オスマン帝国とサファヴィー朝 2.ムガル帝国の興隆 3.清代の中国と隣接諸地域	a:西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を構造的に理解している b:アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，諸帝国の統治の特徴，アジア諸地域の経済と社会や文化の特色，日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	近世ヨーロッパ世界の動向	1.ルネサンス 2.宗教改革 3.主権国家体制の成立 4.オランダ・イギリス・フランスの台頭 5.北欧・東欧の動向 6.科学革命と啓蒙思想	a: 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争,大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 b:ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，宗教改革の意義，大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴，主権国家の特徴と経済活動との関連，ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	産業革命と環大西洋革命	1.産業革命 2.アメリカ合衆国の独立と発展 3.フランス革命とナポレオンの支配 4.中南米諸国の独立	a: 産業革命と環大西洋革命などを基に,国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 b: 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，産業革命や環大西洋革命の意味や意義，などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 産業革命と環大西洋革命に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	イギリスの優位と欧米国民国家の形成	1.ウィーン体制と政治・社会の変動 2.列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3.アメリカ合衆国の発展 4.19 世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	a:自由主義とナショナリズム,南北戦争の展開などを基に,国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的にしている。 b:大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相 互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，自由主義とナショナリズムの特徴，南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 自由主義とナショナリズム，南北戦争の展開などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	アジア諸地域の動揺	1.西アジア地域の変容 2.南アジア･東南アジアの植民地化 3.東アジアの激動	a:アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に，世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。 b:世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を 比較したり関連付けたりして読み解き，労働力の移動を促す要因，イギリスの覇権の特徴，アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: アジア諸国の植民地化と諸改革などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	帝国主義とアジアの民族運動	1.第二次産業革命と帝国主義 2.世界再分割と列強の対立 3.アジア諸国の変革と民族運動	a:第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などを基に，世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。 b:列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し， 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界経済の構造的な変化，列強 の帝国主義政策の共通点と相違点，アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争，アジア諸国の変革などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート
３学期	第一次世界大戦と社会の変容	1.第一次世界大戦とロシア革命 2.ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3.アジア･アフリカ地域の民族運動	a: 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に，第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b:第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し， 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，第一次世界大戦後の国際協調主 義の性格，アメリカ合衆国の台頭の要因，アジア・アフリカのナショナリズムの 性格などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 第一次世界大戦とロシア革命，ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成，アメリカ合衆国の台頭，アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	1.世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2.第二次世界大戦 3.新しい国際秩序の形成	a: 世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に，国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 b:世界恐慌と国際協調体制の動揺、第二次世界大戦と大戦後の動向などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点，ファシズムの特徴，第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連，アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 世界恐慌とファシズムの動向，ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序，冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査　確認テスト	定期考査　ワークシート	振り返りシート
	冷戦と第三世界の台頭	1.冷戦の展開 2.第三世界の台頭とキューバ危機 3.冷戦体制の動揺	a: 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展などを基に，紛争解決の取組と課題を理解している b: 国際機構の形成と紛争に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，国際連盟と国際連合との共通点と相違点，紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。	定期考査　確認テスト	定期考査　ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	冷戦の終結と今日の世界	1.産業構造の変容 2.冷戦の終結 3.今日の世界 4.現代文明の諸相	a:冷戦の終結と地域紛争の頻発、先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化など基に，紛争解決の取組と課題及び格差是正の取組と課題を理解している。 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バイオテクノロジーと生命倫理，人工知能と労働の在り方の変容，情報通信技術の発達と知識の普及などを基に，知識基盤社会の展開と課題を理解している。 これまで学んできた歴史的経緯を踏まえて，地球世界の課題を理解している。 b: 冷戦の終結と地域紛争の頻発に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響， 事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点，紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 国際競争の展開と経済格差に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響， 事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴，諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴，経済格差 と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 科学技術の高度化と知識基盤社会に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連 付けたりして読み解き，現代の科学技術や文化の歴史的な特色，第二次世界大 戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・ 多角的に考察し，表現している。 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・ 多角的に考察，構想し，表現している。 c: 冷戦の終結と地域紛争の頻発、先進国の経済成長と南北問題，アメリカ合衆国の覇権の動揺，資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換，アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題，経済のグローバル化などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。 原子力の利用や宇宙探査などの科学技術，医療技術・バ	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			イオテクノロジーと生命倫理，人工知能と労働の在り方の変容，情報通信技術の発達と知識の普及などに関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などについて自ら主体的に探究し、自分なりの考察を通してより深い理解へたどり着こうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度